

# 未来へつなぐ調布の環境 ～平成28年度 環境年次報告書～

調布市環境基本計画（計画期間：平成28年度～平成37年度）・環境データの報告



「調布市いきものフォトコンテスト2016」 ～感じよう！生物多様性～ 多摩川部門 多摩川自然情報館大賞

## 調 布 市

この「未来へつなぐ調布の環境」～平成28年度 環境年次報告書～（以下、「本報告書」という。）は、平成28年3月に策定した調布市環境基本計画で定めた環境指標等に対する達成状況及び調布市をとりまく環境等に係るデータを毎年報告するものです。今回は平成28年度の実績を掲載しています。本冊子が、環境に対する取組を市民の皆様と共に進めていくため、調布市の環境をより分かりやすくお伝えし、情報を共有するための一助となれば幸いです。

# 目 次

第1章 調布市環境基本計画の概要	1
1.1 計画の概要	1
1.2 計画期間	1
1.3 基本理念・目指す環境の将来像	1
1.4 具体的な施策と目標体系	1
第2章 地域の概況	4
2.1 調布市の位置	4
2.2 調布市の地形	4
2.3 人口・世帯数	4
2.4 産業	5
2.5 土地利用	5
2.6 交通体系	6
2.7 上下水道	6
第3章 調布市環境基本計画に基づく進ちよく報告	8
3.1 「豊かな緑と水や多様な生物を育むまち」の進ちよく状況	18
3.2 「人と環境が調和する快適で美しいまち」の進ちよく状況	31
3.3 「安心して暮らせる生活環境が確保されるまち」の進ちよく状況	41
3.4 「低炭素で循環型の社会の形成を目指し実現するまち」の進ちよく状況	54
3.5 「みんなの力でより良い環境を目指すまち」の進ちよく状況	70
3.6 重点プロジェクト	79
第4章 調布市の環境状況	
4-1 大気	87
4-2 水	128
4-3 騒音	162
4-4 振動	167
4-5 放射線	170
4-6 用語集	177



# 第1章 調布市環境基本計画の概要

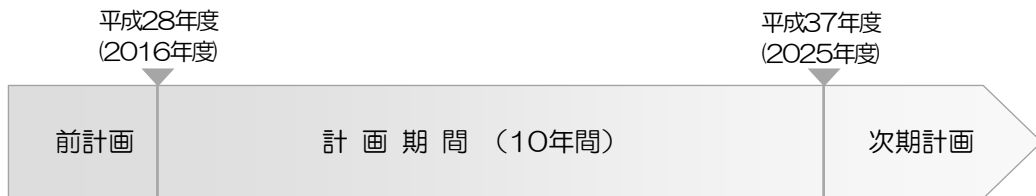
## 1.1 計画の概要

調布市では、「調布市環境基本条例」第9条に基づき、市の最上位計画である「調布市総合計画」のもとで、環境行政におけるマスタープランとなる「調布市環境基本計画」（以下、「本計画」という。）を平成28年3月に策定しました。

本計画は、市が目指す環境の将来像を明らかにし、環境に関する目標及び施策の方向性を示し、その実現に向けて、具体的な取組を総合的かつ横断的に推進を図ることで、実効性をあげる役割を担います。

## 1.2 計画期間

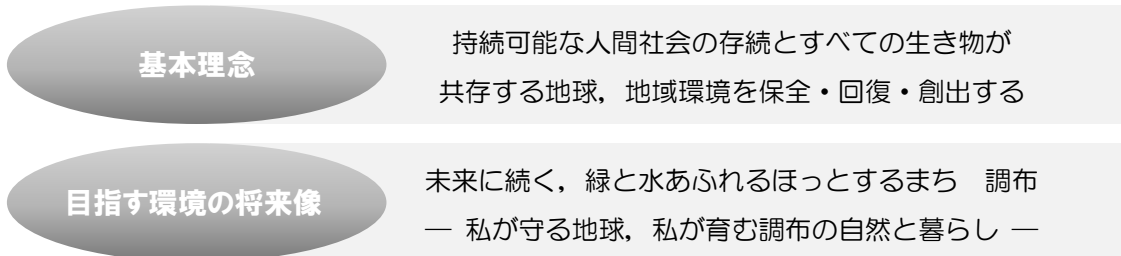
本計画の計画期間は、平成28(2016)年度から平成37(2025)年度までの10年間です。



必要に応じて計画を見直し

社会経済情勢の変化・科学技術の進展・環境問題自体の変化

## 1.3 基本理念・目指す環境の将来像



## 1.4 具体的な施策と目標体系

目指す環境の将来像の実現に向けた今後10年間の取組の方向として、5つの基本目標を定め、それぞれの基本目標に施策の方針を定め、22の施策を体系化するとともに、施策ごとに具体的な取組や環境指標・目標値等を展開しています（本計画の体系は次ページのとおり）。

表 1.4.1 調布市環境基本計画の具体的な施策と目標体系

将来像	基本目標	施策の方針		施策	
未来に続く 緑と水あふれるほっとするまち調布 「目指す環境の将来像」 私が守る地球 私が育む調布の自然と暮らし	1. 豊かな緑と水や多様な生物を育むまち	1-(1)	緑と水の保全・再生	1-①	緑の保全
				1-②	水辺環境の保全・再生
				1-③	里山環境の維持・保全
		1-(2)	生物多様性の保全・活用	1-④	生物の生息空間の保全
				1-⑤	多様な自然環境の活用
	2. 人と環境が調和する快適で美しいまち	2-(1)	美しい街並みの形成	2-①	景観形成の推進
				2-②	歴史・文化環境の保全・継承
		2-(2)	快適な空間の確保	2-③	まちのうるおいの創出
				2-④	都市美化の推進
	3. 安心して暮らせる生活環境が確保されるまち	3-(1)	公害のない環境の維持	3-①	大気汚染の防止
				3-②	水質汚濁の防止
				3-③	騒音・振動の発生抑制
				3-④	化学物質等の対策の推進
	4. 低炭素で循環型の社会の形成を目指し実現するまち	4-(1)	低炭素まちづくりの推進	4-①	省エネルギーの推進
				4-②	再生可能エネルギー等の活用推進
				4-③	環境に配慮したまちづくり
				4-④	地球温暖化への適応
		4-(2)	循環型まちづくりの推進	4-⑤	3R推進によるごみの減量
				4-⑥	ごみの適正処理
	5. みんなの力でより良い環境を目指すまち	5-(1)	環境情報の整備・共有	5-①	環境情報の集約・活用・発信
		5-(2)	環境活動を担う人材の育成	5-②	活動を継続する担い手の育成と啓発活動の推進
5-(3)		連携・協働の基盤づくり	5-③	市民・事業者・市等の連携強化	

重点	環境指標	基準値 (H26年度)	目標値 (H37年度)
	みどり率	36.0% ※H22	36.0% ※H32
★	公共が保全する緑の面積	146.63 ha	149.85 ha
	市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数	5箇所	8箇所
★	浸透設備等の設置による雨水の浸透能力	66,828m <sup>3</sup> /h	115,600m <sup>3</sup> /h
	雑木林ボランティア講座の延べ受講者数	72人	800人
	市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数 (再掲)	5箇所	8箇所
	自然環境調査の実施回数	7回	63回 (延べ回数)
	特定外来生物(植物)駆除活動における対象面積	875m <sup>2</sup> / 回	17,500m <sup>2</sup> (延べ面積)
	自然観察会の実施回数	7回	70回 (延べ回数)
	自然体験学習の参加者人数	877人	9,000人 (延べ人数)
★	公共が保全する緑の面積 (再掲)	146.63ha	149.85ha
	無電柱化道路延長	0m	1,380m (延べ距離数)
	調布には優れた景観があると思う市民の割合	84.3%	85.0% ※H30
	花いっぱい運動の実施箇所数	34箇所	51箇所
	市民一人当たりの公園面積	5.77m <sup>2</sup>	5.66m <sup>2</sup>
	美化推進重点地区数	7地区	11地区
	美化活動に参加した市民の数	9,513人	10,000人
	二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )の環境基準の年間未達成日数	1日	0日
	浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準の年間未達成状況	0日, 0時間	0日, 0時間
	微小粒子状物質(PM2.5)の環境基準の年間未達成状況 (1日平均を確認)【参考指標】	0日	0日
	雨天時における処理場を含む各吐口からの放流水の BOD値(平均放流水質)	40mg / L以下	40mg / L以下
	道路交通騒音の要請限度数値の未達成地点数	1地点	0地点
	騒音相談が寄せられた工場・指定作業場における規制基 準順守状況	85%	100%
	空間放射線量の測定監視回数及び除染基準を超えた回数 (【 】内は除染基準を超えた回数)	120回【0回】	120回【0回】
	市役所から排出されるCO <sub>2</sub> の削減	14,859t-CO <sub>2</sub>	13,343t-CO <sub>2</sub>
	街路灯のLED化	0m	1,380m (延べ距離数)
	市域から排出されるCO <sub>2</sub> 排出量【参考指標】	829kt-CO <sub>2</sub> ※H24	705kt-CO <sub>2</sub> ※H35
★	補助要綱に基づく補助金交付対象となった太陽光発電シ ステムの公称最大出力	367.88kW	2,520kW (延べ出力) ※H34
	補助要綱に基づく補助金交付対象となった家庭用燃料電 池の助成件数	105件	700件 (延べ件数) ※H34
	公共施設に設置した太陽光発電システムの公称最大出力	993.8kW	1,043.5kW
	みどり率 (再掲)	36.0% ※H22	36.0% ※H32
	市域から排出されるCO <sub>2</sub> 排出量【参考指標】 (再掲)	829kt-CO <sub>2</sub> ※H24	705kt-CO <sub>2</sub> ※H35
★	浸透設備等の設置による雨水の浸透能力 (再掲)	66,828m <sup>3</sup> / h	115,600m <sup>3</sup> / h
	地球温暖化に係る情報提供数	25回	28回
★	市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量	389.7g / 人日	380g / 人日 ※H34
	最終処分量(埋立量)	0	0 ※H34
	総資源化率	44.7%	47% ※H34
	市報や環境年次報告書等による環境情報の提供回数	104回	115回
★	多摩川自然情報館のボランティア解説員養成講座を受講 し、解説員として登録するボランティア人数	19人	40人
	調布こどもエコクラブ加入者数	55人	500人 (延べ人数)
★	雑木林ボランティア講座の延べ受講者数 (再掲)	72人	800人
	環境連携事業数	58回	580回 (延べ事業数)

※原則、基準値は平成26年度の実績値、目標値は平成37年度の値としているが、「※」の箇所は調布市基本計画及びその他の個別計画等により定められた指標等を活用しており、その計画等に記載されている年度を基準値または目標値としている。

## 第2章 地域の概況

### 2.1 調布市の位置

調布市は、東京都のほぼ中央に位置し、都心へ約20kmの距離にあります。市域は、東西約7km、南北約5.7kmと東西方向にやや長く、総面積は21.58km<sup>2</sup>です。



図 2.1.1 東京都内における調布市の位置

### 2.2 調布市の地形

多摩川に向かって、武蔵野段丘、立川段丘、多摩川沖積低地が形成されています。武蔵野段丘と多摩川沖積低地の高低差は約30mあり、「はけ」と呼ばれる国分寺崖線、布田崖線及び仙川崖線の斜面が見られるのが特徴です。

南部を流れる多摩川を始め、崖線下の湧水を主な水源とする野川、仙川、入間川が市内を流れています。

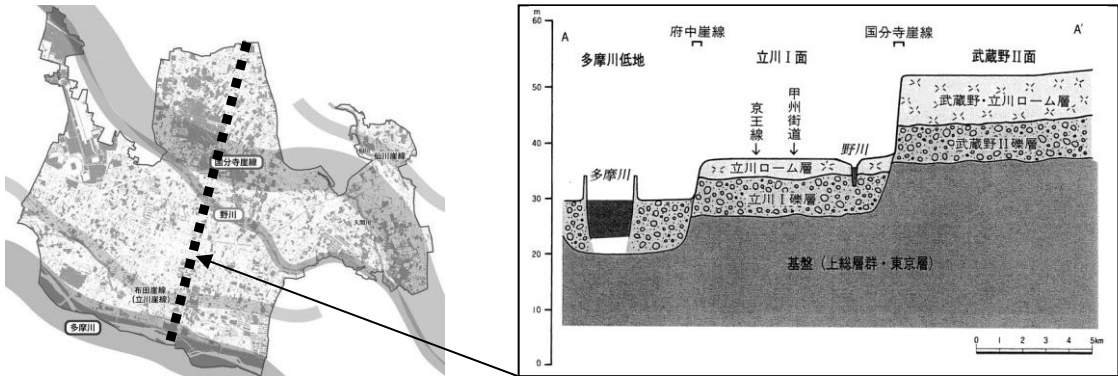


図 2.2.1 調布市の位置と地勢

(資料：「調布市景観基本計画」平成 24 年 4 月 (左図), 「図説調布の歴史」平成 12 年 3 月 (右図))

### 2.3 人口・世帯数

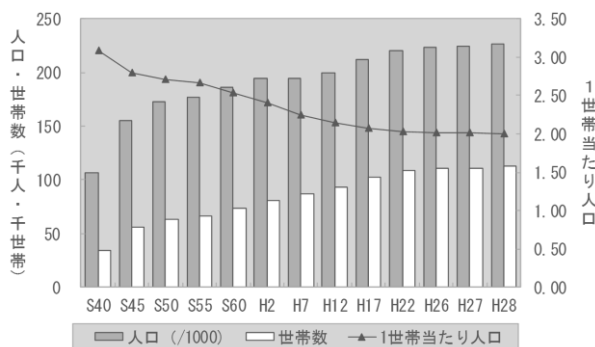


図 2.3.1 人口・世帯数の推移  
(各年 1 月 1 日現在, 資料：調布市統計書平成 27 年版)

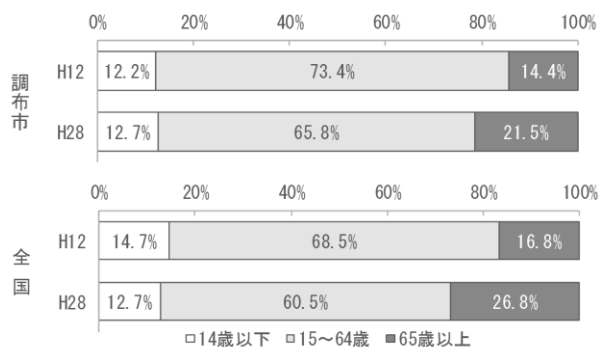


図 2.3.2 年齢別人口比の比較 (調布市・全国)  
(各年 1 月 1 日現在, 資料：調布市統計書平成 27 年版, 総務省統計局)



## 2.4 産業

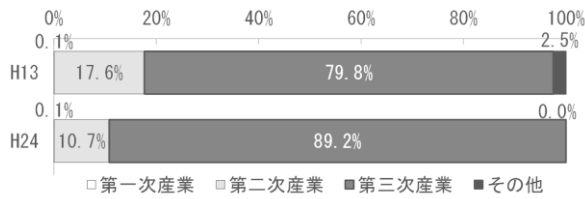


図 2.4.1 産業従業者の内訳  
(資料：調布市統計書平成 14 年版, 平成 26 年版)

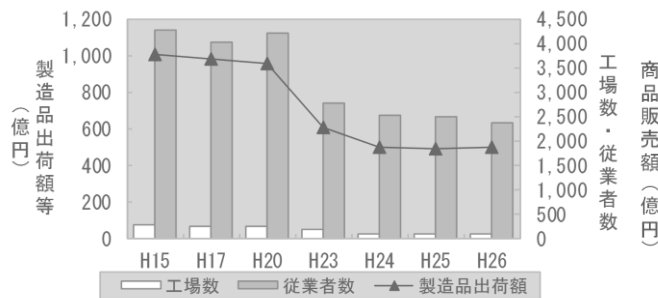


図 2.4.3 工場数・従業者数・製造品出荷額の推移  
(資料：調布市統計書平成 27 年版)

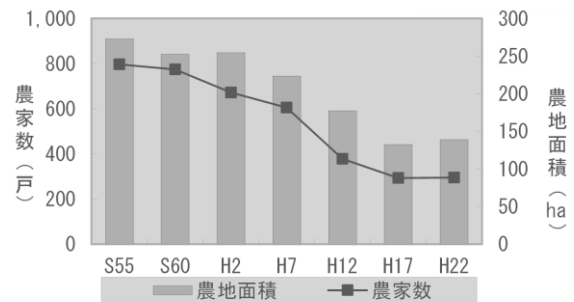


図 2.4.2 農地面積・農家数の推移  
(資料：調布市統計書平成 18 年版, 平成 27 年版)

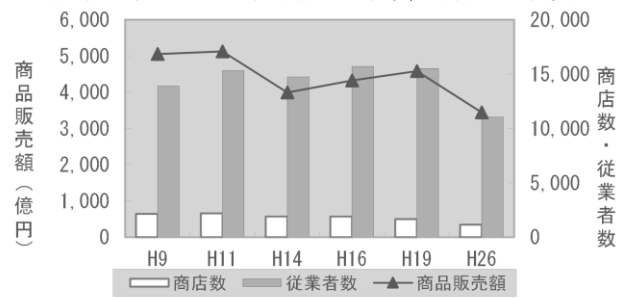


図 2.4.4 商店数・従業者数・商品販売額の推移  
(資料：調布市統計書平成 27 年版, 平成 26 年商業統計確報(経済産業省))

## 2.5 土地利用

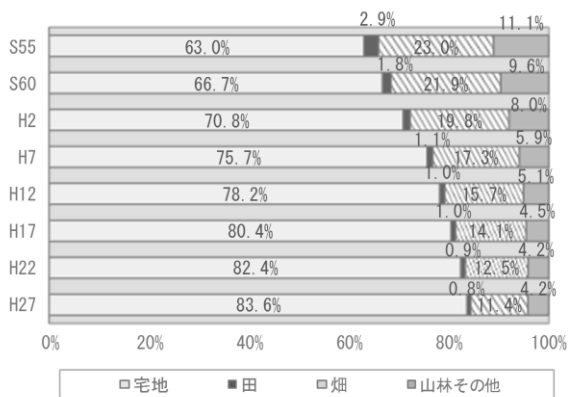


図 2.5.1 地目別土地利用の内訳の推移  
(資料：調布市統計書平成 27 年版)

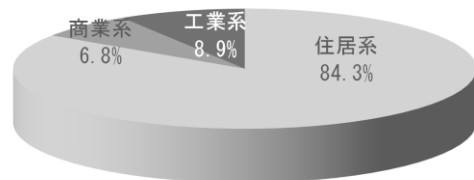


図 2.5.2 用途地域の内訳  
(平成 28(2016)年 3 月末現在, 資料：調布市統計書平成 27 年版)

## 2.6 交通体系

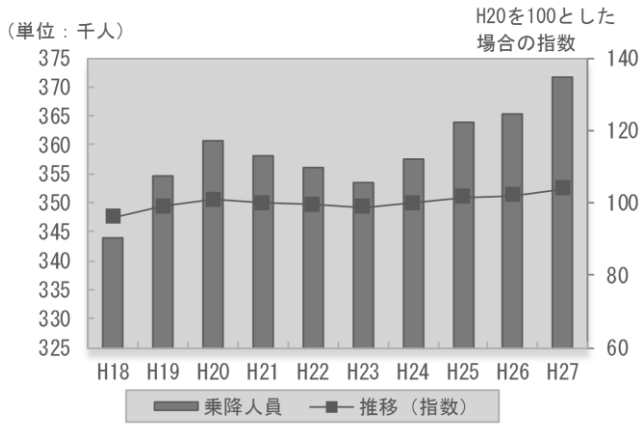


図 2.6.2 鉄道乗降人員の推移  
(資料: 調布市統計書平成 21 年版, 平成 27 年版)

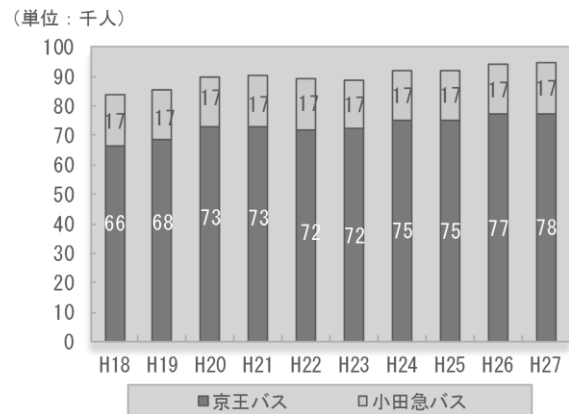


図 2.6.1 路線バス輸送人員の推移  
(資料: 調布市統計書平成 18 年版～平成 27 年版)

## 2.7 上下水道

年度	給水人口	配水量	一日平均配水量
H23	224,339	25,238,400	68,957
H24	225,057	25,104,600	68,780
H25	226,178	25,047,100	68,622
H26	226,435	24,733,000	67,762
H27	229,644	24,950,000	68,169

図 2.7.2 水道配水量の推移 (単位:  $m^3$ )  
(資料: 調布市統計書平成 27 年版)

年度	処理区域面積 (ha)	処理区域人口 (人)	水洗化人口 (人)	管渠延長 (km)
H23	1,955	222,518	222,438	553
H24	1,955	223,220	223,144	553
H25	1,955	223,947	223,871	553
H26	1,955	224,703	224,627	553
H27	1,955	227,208	227,140	553

図 2.7.1 下水道の普及状況  
(資料: 調布市統計書平成 27 年版)

